

平成 29 年度第 1 回自治体等 F M 連絡会議多摩地域会の開催報告

多摩地域会代表幹事 東京都武蔵野市総合政策部企画調整課 丸山貴文

開催日 平成 29 年 8 月 1 日（火） 午後 1 時 30 分から午後 4 時 40 分まで
開催場所 武蔵野プレイス フォーラム（東京都武蔵野市）
参加者数 75 人（多摩地域 23 団体、61 人その他 11 団体 14 人）

内容報告

1 講演「市民参加で進める公共施設マネジメント」

講師 武蔵野美術大学 教授 齋藤 啓子 氏

各自治体において公共施設等総合管理計画が策定され、今後個別施設計画の策定が求められています。個別施設計画の策定において、どのように市民参加を進めながら計画策定を行っていくかのヒントとして、齋藤氏のこれまで市民参加に携わってこられた豊富な経験談をお聞きしました。ワークショップ等参加者同士が共通体験を通して、共感を得ながら進めていくことの重要性等についてご講演いただきました。



2 公共施設再編シミュレーションゲーム（体験）

小平市が市民会議で使用された公共施設再編シミュレーションゲームを体験しました。6～7人でチームとなり、公共施設マネジメントとは何か、少子高齢化が進む中、既存の公共施設をどう廃止して、新設・複合化など進めながら、高齢者の人口増に対応していくか楽しく学ぶことができました。



3 その他

終了後のアンケートでは、講演について、「手や体を動かした体験による実感と共感の大切さを感じました」「議論の進め方に悩んでいましたが、いろいろな可能性を考えることができました」「普段の業務で市民目線で考えられることが少ないため、大変参考になりました」等プラスの感想をいただいたほか、もう少し時間が欲しかったとのご意見もいただきました。また、公共施設再編シミュレーションゲームについては、「複数の人間で行うことで、合意形成の難しさ、考え方の違いを超える話し合いの方法を体験することが実際のゲームの結果よりも重要であった」「市民参加を推進していく導入部分で有効な取組み」「庁内研修で活用したい」等非常に好評で、参加者に楽しんでもらいつつ、学んでいただくことができました。

また、次回以降取り上げてほしいテーマとして、施設保全業務、PPPの活用（サウンディング市場調査）、施設マネジメントによるコスト縮減の事例、包括業務委託の効果等、特定のテーマに関する実務レベルの深い内容を求める声もあがっています。

今後も引き続き、自治体間の横の連携を強化しつつ、各自治体の取組みの意識レベル・知識レベルの向上を図れるよう、多摩地域会を開催したいと考えております。今後とも皆様のご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。